

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 那須町立高久小学校

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全40時間)	私たちにできること
学習のねらい	・これまでに総合的な学習の時間で身に付けた力を用いて、主体的に課題解決に取り組もうとする力を養う。 ・那須町の地域・自然・景観のよさを理解し、それを発信しようとする態度を育成する。 ・取材や体験活動を通して、情報収集能力を身に付け、情報を効果的に伝えていく方法を身に付ける。
学習内容	1 取材を通して、地域の（アカマツ林を中心とした）景観について理解を深める。 2 那須町の観光客の推移や観光課の活動について調べる。 3 地域の魅力を伝える活動を企画する。 4 パンフレットを作成し、配布する。
参考資料 準備品 実施場所等	景観まちづくり学習モデルプログラム、那須町観光商工課からの資料 学習用タブレット 那須町役場、アカマツ林、那須町の観光地、修学旅行訪問先（東京方面）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
10	1 地域コーディネーター、塩那森林管理署に取材を行い、地域に住む人々の願い、アカマツ林の現状について調べる。	・自分たちが住む地域のよさは何か、地域に住む人々はどんな願いをもっているのかについて、取材を通して気付かせていく。 ・アカマツ林の景観に注目させ、景観を守っていくにはどうすればよいかを考えさせていく。	・観察、ワークシート - 関心・意欲・態度 ・取材メモ - 情報収集能力 - 課題設定能力
10	2 那須町役場観光商工課に取材し、観光客の推移や観光振興系の活動について調べる。	・アカマツ林から那須町全体に目を向けさせ、観光地としてのよさを考えさせる。 ・観光課への取材を通して、那須町の観光事業の現状について理解させる。	・観察、発言 - 思考・判断・表現 ・取材メモ - 情報収集能力
15	3 調べたことをもとに、那須町の魅力を伝える活動を企画する。	・取材を振り返らせ、自分たちにできることを話し合わせる。 ・観光商工課や塩那森林管理署、地域コーディネーターの協力を得ながら、那須町の魅力を伝える活動を企画していく。 ・ラジオでの宣伝や、地域の祭りへの参加、観光事業への参加など、子どもたちが主体手に活動できる内容を考えていく。	・観察、発言 - ワークシート - 課題追究能力 - 問題解決能力 ・活動、観察 - 課題解決能力 - 思考・判断・表現
5	4 那須町の魅力を伝えるパンフレット・チラシを作成する。	・調べたことや活動したことをもとに、那須町の魅力を伝えるパンフレット作りをする。 ・アカマツ林の景観についてもふれ、現状と自分たちの活動を紹介する。 ・外国人向けのパンフレットも作成し、国際理解の能力も高める。 ・作成したパンフレットは修学旅行の場を活用して観光案内所などに設置してもらえよう依頼する。	・観察、パンフレット - 情報発信能力 - 関心・意欲・態度

<留意点>

- ・活動全体を通して、できるだけ児童の発言や話し合いを中心に活動の設定をしていく。教師主体ではなく児童主体の課題設定を意識していく、
- ・協力をお願いする組織と事前に連絡を取り合い、活動が円滑に進むよう配慮する。
- ・校外学習や修学旅行時など、交通安全を確保する。特に観察中や写真撮影中、取材中などは周囲への注意が疎かにならないよう十分に配慮する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 那須町立高久小学校

時数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
2	教室	総合的な学習の時間の オリエンテーション		今年度の活動内容を話し合い、那須町の景観を守りつつ、魅力を広く紹介するために、「アカマツ林再生プロジェクト」と「那須町観光パンフレットづくり」に取り組むことになった。
2	アカマツ林	アカマツ林の見学		実際に見学したり、地域コーディネーターの方から話を聞いたりし、アカマツ林の現状を把握した。
1	昇降口	アカマツ播種活動		アカマツ林を管理している塩那森林管理署の方の話を聞き、播種活動を通して理解を深めた。
5	教室	・アカマツ林再生プロジェクトについてのチラシ作り ・イベントの出し物準備		アカマツ林の現状についてチラシにまとめた。また、地域のイベントに参加し、アカマツ林の現状を地域の人に知ってもらう活動をするようになった。
※	くらしのわ (学区内に ある公民館)	「くらしのわ」イベント 参加 アカマツ林再生プロジェクトについてのPR		イベントに参加し、アカマツ林のマツボックリを使った出し物を企画し、実践した。アカマツ林再生プロジェクトについてまとめたチラシもたくさん配布することができた。
4	教室	国語科の授業と関連させ、那須町観光商工課への取材準備		那須町の観光の現状を把握するために、那須町役場の観光商工課へ取材をすることになり、取材の準備を行った。
2	那須町役場	那須町観光商工課への取材活動		観光商工課に取材を行い、那須町の観光の現状について理解を深めた。
2	教室	取材内容まとめ		取材して分かったことをまとめた。
2	教室	今後の活動についての話し合い		取材して分かったことをもとに、今後の活動について話し合い、5つの班に分かれて那須町観光パンフレットを作成することになった。
5	教室	5つの班に分かれて取材準備		夏休み中に行う取材活動に向けて各班で準備を進めた。取材を依頼する電話は児童が職員室から直接事業所へ連絡した。
3	GOODNEWS	GOODNEWSへの取材		校外学習として、学級全員で那須町の事業所を訪れ、取材活動を行った。
※	鹿の湯	鹿の湯への取材		鹿の湯へ訪問し、取材活動を行った。取材を通して、鹿の湯の魅力について理解を深めた。
※	那須岳	那須岳登山客への取材		実際に登山をしたことで、那須岳の魅力を肌で感じた。また、登山客へ取材を行い、那

				須岳を訪れた理由について知ることができた。
1	校庭	アカマツ間伐作業		播種したアカマツの間伐作業を行った。
※	砂川印刷	砂川印刷株式会社とパンフレット作成についての打合せ		那須町観光パンフレットを作成するに当たって、印刷会社と児童が打合せを行い、パンフレットの作成方法について理解した。
※	教室	YouTubeチャンネル「だっばラジオ」への出演に向けた打合せ		アカマツ林再生プロジェクトの取組についてYouTubeチャンネルを用いて紹介していくために、地元の方が配信している「だっばラジオ」に出演することになった。
※	だっばラジオ局	「だっばラジオ」への出演 アカマツ林再生プロジェクトのPR活動		「だっばラジオ」に出演し、アカマツ林再生プロジェクトの取組を写真を用いてPRすることができた。
5	教室	国語科の活動と関連させ、パンフレットの作成		国語科の単元と関連させ、これまで取材してきたことを記事にした。パンフレットの割付やデザインを考え、観光客が那須町に足を運びたくなるようなパンフレット作りを意識して取り組んだ。
1	教室	外国語の時間を活用し、パンフレットに英語の紹介文を挿入		外国語の単元と関連させ、パンフレットの記事を英語で表現し、パンフレットに挿入した。
※	砂川印刷	砂川印刷株式会社とパンフレット最終打合せ		パンフレットに載せる画像やデザインの修正作業を行った。
※	だっばラジオ局	「だっばラジオ」への出演 完成したパンフレットの紹介		改めて「だっばラジオ」に出演し、完成したパンフレットを紹介した。
1	とちまるショップ	修学旅行先のソラマチ「とちまるショップ」において那須町観光パンフレットの設置依頼		とちまるショップに訪問し、パンフレットを設置してもらうよう依頼した。
4	那須町役場 鹿の湯 GOODNEWS 砂川印刷	取材活動でお世話になった場所へ訪問 パンフレットの設置依頼		取材でお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、パンフレットの設置を依頼した。

※ 夏休み中や放課後など、授業時間外での班別活動

- ・ 活動記録(写真)は二次利用用の Google ドライブ 上に保存させていただきました。
- ・ 「だっばラジオ」とは、栃木県那須町の黒田原商店街にあるローカルインターネットラジオ局です。地元の人が番組に出演し、地域に根付いた番組を YouTube チャンネルで配信しています。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- 年度始めに年間の指導計画を立てて臨みました。指導者側が見通しをもっていたので、子どもにも悩むことなく指導できました。また、地域にある公民館の「くらしのわ」のイベント参加など、ほかの活動についても、総合に関連させることができました。
- 様々な活動において、できるだけ「自分たちが企画している！」という主体性をもたせながら取り組ませました。教師の方でお膳立てをしつつ、あたかも自分たちが全て企画運営していると感じさせることができるよう声掛けや助言を工夫しました。5月に行った「くらしのわ」での活動では、できるだけ子どもたちが中心となり、主体的に取り組むことができるような声掛けや手立てを考えて指導してきました。アカマツ林再生プロジェクトを紹介するチラシ作りについては、児童がアカマツについてまとめた自主学習ノートをみんなに紹介し、それを生かすことができないか投げかけてみたり、昨年度拾ったマツボックリを生かしてイベントを盛り上げるできないか問いかけてみたりと、教師の方でルールを引いていることが悟られないよう、子どもたちの発言を大切に課題設定を行いました。また、準備においてはほとんど口を出さず、児童が困ったときにだけ対応するようにしていました。準備不足だと感じる点については、他の班の児童とお互いに発表させたり、本番のシミュレーションをさせたりしながら気付かせるようにしていきました。当日は、できるだけ存在を消し、うまくいっていてもうまくいってなくても我慢して見守る姿勢を貫きました。
- 那須町役場の観光商工課での取材活動では、国語科の「聞いて、考えを深めよう」の授業と教科横断的に取り組みました。インタビューをする上で、質問事項に対する自分の考えをもっておくこと、相手の答えに対して、自分の考えを改めて述べること、そのための事前指導を授業で行いました。
- 那須町観光パンフレット作成のための取材活動の計画では、事前に子どもたちから事業所へ電話連絡をさせ、予約をさせる体験をさせました。
- 夏休み中、総合的な学習の時間の取組として鹿の湯への取材、那須登山、パンフレット作成のための登校日を設定して各班毎に取り組ませました。班ごとの活動内容が変わってくるため、総合的な学習の時間の授業時間内で一つの班に固執すると、指導者が足りなくなってしまうという課題がある中で、夏休み中の活動ではそれが改善されることにより、充実した活動になったと感じています。
- 国語科の単元「おすすめパンフレットを作ろう」と関連させて、那須町観光パンフレット作りを進めました。目的意識を持たせたパンフレット作りをさせたことで国語科としても必要性を感じさせながら学習を深めることができました。
- 外国人の観光客を増やすために、那須町観光パンフレットに英語の紹介文を挿入しました。外国語の「My town is wonderful.」の授業と関連させ、ALTにも協力を得て、自分の町の魅力を英語で表現しました。

(2) 実施にあたり苦労した点

- 観光課への取材を終え、「自分たちでできること」について具体的な活動を子どもたちと話し合った結果、「登山をして山の魅力を伝える」「温泉を巡って魅力を伝える」「人気の事業所（GOOD NEWS）に取材をして魅力を伝える」「だっばラジオに出演してアカマツやパンフレットを宣伝する」「パンフレットをデザインして印刷を依頼する」の5つの班で活動することが決まりました。5つの活動内容について、各方面と連絡調整を行い、児童から主体的に行動を起こせるよう支援していくことが苦労した点です。

(3) 児童の反応

- ・「くらしのわ」で活動をした子どもたちの様子を見ると、最初は不安や心配、戸惑いがあるように感じましたが、徐々に要領をつかんで、自信をもって活動できていたように思います。実施後の振り返りでは、「最初はうまくできなかったけど、少しずつうまく説明ができるようになってきました。」と書いている児童や「アカマツのチラシが全てなくなって嬉しかったです。これからもアカマツのことを多くの人たちに知ってもらい、大切にしてほしいです。」と書いている児童がいました。主体的に活動に取り組みせ、自分事として活動をふり返ることができている様子が見られ、児童の自信や経験につながる活動になったのではないかと感じています。
- ・那須町役場の観光商工課での取材活動では、特別会議室での取材となり、子どもたちは不慣れな環境で非常に緊張していました。はじめの方は考えていたこともなかなか言い出せない様子でしたが、質問を重ねるうちに少しずつ緊張がほぐれ、考えていたことだけでなく、その場で考えたアドリブを交えながら答えることができるようになりました。必要感をもって実際に取材に行く経験は、やはり校内での活動では得られない貴重な体験になったと思います。国語の授業としても意欲が途切れることなく主体的に学ばせることができたと感じています。
- ・4月当初に構想していた景観町づくりプロジェクトを、子どもとともに計画し、準備し、実践を通して実現することができました。特に気を付けていたことは、先生主体の活動にならないようにすることです。「自分達がやりたいことを提案し、準備してやりとげた！」と感じさせることができるように、言いたいことがあっても、失敗しそうになっても、口を挟まずに我慢しました。活動後に、子どもが失敗から大切なことを学ぶ場面があったり、自分の力だけでやりとげたという本物の達成感を感じている様子があったりと、教師が我慢したことによりよい結果が生まれることが多々ありました。
- ・総合的な学習の時間を基盤として学級経営を進めてきたことで、最高学年として、学習で身に付けた力を発揮する様子もありました。4月頃の6年生は、行事でも自分のことばかりで、教師の指示を待つ様子がありました。しかし、今回の活動を通して、「自分で考えて行動すること」「指示を待たずにまずやってみること」「友達と協力して支え合いながら計画、実践すること」を学ぶことができ、それを縦割り班活動や委員会、運動会などの学校行事に生かすことができていました。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・児童と協力者の方の打合せでは、できるだけ口をはさまずに子どもたちだけで話し合いをさせることを意識して臨みました。打ち解けるまでに少し時間は掛かりますが、我慢して口を挟まずにいれば少しずつ子どもたちから自分たちの考え（本音）が生まれていくと思います。今回の活動を通して、子どもに委ねることの大切さを学ぶことができました。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

- ・今回の活動を実現するために、準備やアポイント等、かなりの負担感がありました。今後、高久小学校の6年生としての定番の学習として活用することは厳しいと思います。総合的な学習の時間が毎年担任の裁量に委ねられているというのは今後改善しなくてはいけない課題だと思うので、来年度につながる活動というのも意識して取り組んでいきたいです。
- ・12月～2月にかけて、これまでの取組を発表する場が設定されています。那須町観光パンフレットも無事に完成させることができたので、児童には、計画して実践し、学んだことを余すことなく伝えきってほしいと思います。